

ブラジル・サンパウロで 第2の人生

伊藤 武
(昭和36年電気科卒)



1960年、日立茂原工場の就職試験を受けた。結果は無残にも敗退、不合格であった。

担任の佐藤温先生は、母子家庭であることが少なからず影響したようだが、会社は日立だけではない、くじけず頑張るって他の会社を受け、将来課長さんになって不採用にした会社を見返してやりなさいと言って励ましてくれた。

思い直した私は、その後八欧電機の試験を受け幸いにもパスすることができたが、丁度その時横河電機からの求人が学校に届き、先生の勧めで横河も受けることになった。

ラグビー部のつわものと一緒にいたが、ラグビーに力を入れている横河ゆえ、ブラバン出身の自分には勝ち目はないと思いつつ試験に挑んだ。筆記試験が終わり面接になった時、試験官の方から「君はどうして1枚しか書かなかったのか？」と質問を受けたが、1枚しか書かなかったのではない、1枚しかないと思込んでいたことを説明したところ、この田舎育ちの少年は変わってるなと言わんばかりの目で見られてしまった。

横河はダメだと諦めかけていた時、佐藤先生から横河にかけてみようと言われ八欧電機は断った。数日後に、試験の半分しか回答しなかった横河から合格の返事をいただいたが、この年横河は、合計で400人近い新入社員を採用した年であり、きっとそのどさくさに紛れて採用になったのだと今でも思っている。

入社後、自分が持つ知識がほとんど役に立たないことを痛烈に思い知らされた私は、その後2年間、日本電子専門学校の夜間部に通学することになった。学校では、半導体電子工学の授業を夢中になって受けたものの、実習は、毎日会社でやっていることに比べると極めて幼稚なものに思えてしまい、とうとう1時間の出

席もなく卒業を迎えた。その私が、卒業式で優等生の表彰を受けたのは、いまだにその理由が分からない。

27歳の冬、スキーで激しく転倒し首にダメージを受け、小1時間首から下の感覚がなくなってしまった。60分がこんなにも長く感じたのは、あの時以外ない。27歳にして人生終わりかと半ば諦めていたときに、足の親指がピクリと動き、下半身がまだつながっていたと分かった時の喜びと感動は、70歳に近くなった今でも、はっきりと思い出せる。

4ヶ月の入院治療を終え現場に復帰したが、翌年、よせばいいのにまたスキーで転倒して再び首を痛めてしまった。さすがに今度は誰にも言う勇気がなく、こっそり隠れて治療していたのがバレてしまい、上司からこっぴどく叱られてしまった。

31歳になったある日、上司に呼ばれてブラジル市場調査メンバーに加わることを打診されたが、地理が苦手な私は、それまでブラジルがどこにあるのかも知らないようなままだったにもかかわらず、気がついたら二つ返事で引き受けてしまっていた。

4ヶ月間の調査の間、若気の至りでよからぬ病気をいただく羽目に陥り、医者の方でペニシリンを服用したところ、今度は薬アレルギーで、体のあちこちが崩れてただれてしまい歩くのもままならなくなってしまった時に、運悪く本社から役員さんが視察に来られ、無様な姿を余すところなくさらしてしまい、サラリーマン生活もこれまでかと思えば覚悟を決めざるを得なかった。

2年後、駐在員として再びブラジルの地を踏むことになったが、約半年間に及ぶ婚活も実らず、独身での赴任だった。

その後ブラジルで結婚し3児の父親となり、1985年12月には現地法人の社長になったが、どさくさに紛れて入社した私がこのような職に就けたのは、まさに周りの人達の思いやりと協力があったればこそと感謝の念に絶えなかった。

9年後の94年4月に予期せぬことが起こった。52歳にして脳血栓に襲われたのだ。

この病気を境に、私の価値観は大きく変わっていった。小さなことでもいい、自分自身の力で、お世話になっているブラジルに何か恩返しをしたいとの思いが日に日に強くなっていった。丁度時を同じくして、尊敬して止まらなかった本社の社長が癌で他界してしまっただが、この出来事が、私に退職の決断をさせることになった。

99年10月に横河を希望退職した私は、1年間の準備期間を置いて、末娘の誕生日に合わせ、2000年10月3日にラーメン餃子の専門店「あすか」を開店した。

スキー事故で廃人に、又は脳血栓で命を落としていてもおかしくなかった私が、今日現在こうしてラーメン屋の亭主を続けていることを思うと、人は自分で生きているのではなく、多くの人に支えられながら生かされているのだということを強く感じずにはられない。

これからも、生かされていることに感謝しつつ、少しでも社会のお役に立てればと思う毎日である。



DIME 株式会社 タイム

建設業登録 東京都知事 許可(般-1)第121344号
建設コンサルタント登録(地質部門)建18第8590号

代表取締役 広野 進
取締役 鎌田 国雄 (昭和37年土木科卒)

〒02-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル3階
TEL 03-5275-7756 FAX 03-3512-3202
ホームページ: <http://www.di-me.co.jp/>

香港飲茶 湘園

おすすめ

- 褒だし 花彫紹興酒
- A菜(台湾野菜)
- 各種飲茶料理

ご宴会は 2,500円から
飲み放題: 2時間1,500円

● 中国スナック「美蘭」

香港飲茶 湘園
港区新橋2-10-1 NKビル
TEL.03-3501-2251

地元密着の総合建設業

彩光建設株式会社

SATA Construction Group

代表取締役 千葉 弘敏
常務取締役 下總 勉 (昭和47年建築科卒)

〒330-0842 埼玉県さいたま市大宮区浅間町2-257
電話 048-647-3155 FAX 048-647-3370
E-mail tsutomu-shimofusa@saikoukensetsu.co.jp

～キレイな製品作りを心掛けています～

NC・MCの精密加工

サン コウ

有限会社 三広機械

代表取締役社長 三浦 進 (昭和36年産業科卒)

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-78
TEL.018-828-5993 FAX.018-828-8162 E-mail: sankou@wing.ocn.ne.jp

補償コンサルタント・一級建築士事務所

株式会社 償 研

代表取締役 池田 昌憲 (昭和47年建築科卒)

本 社/ 〒010-0062 秋田市牛島東2丁目1番30号
TEL.018-884-0966・FAX.018-825-0903
E-mail: main@shoken.tv